



乳腺外科学講座

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学附属学術情報センター 公開日: 2021-06-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2001064

武藤哲史. 期待されるがん免疫療法ーがん治療における免疫療法の未来ー. 市民公開講座「がん免疫療法のいま」を知る; 20191013; 福島.

武藤哲史. Discussion 肺癌治療戦略について (コメンテーター). 第4回 NSCLC Expert Meeting～呼吸器外科医の立場から診る NSCLC～; 20191113; 仙台.

武藤哲史. 肺癌治療シーケンス. 第4回 NSCLC Expert Meeting～呼吸器外科医の立場から診る NSCLC～; 20191113; 仙台.

鈴木弘行. ここまで進歩した肺癌に対する免疫療法. 第32回日本バイオセラピー学会学術集会総会市民公開講座; 20191129; 岡山.

塩 豊. ロボット手術を安全に実施するための VINCENT を用いた 3D 画像構築. 肺切除手術の最前線 3～SYNAPSE VINCENT の有用性～; 20191214; 郡山.

[その他]

鈴木弘行. 病院長と語ろう！ 令和元年度福島県立医科大学男女共同参画支援室 FMU カフェ; 20191209; 福島.

その他の業績・作品等

鈴木弘行. MSD 株式会社「キイトルーダ®」有害事象記録支援アプリ「KEY+YOU e ダイアリー」監修.

乳腺外科学講座

論 文

[原 著]

Okano M, Oshi M, Butash AL, Katsuta E, Tachibana K, Saito K, Okayama H, Peng X, Yan L, Kono K, Ohtake T, Takabe K. Triple-Negative Breast Cancer with High Levels of Annexin A1 Expression is Associated with Mast Cell Infiltration, Inflammation, and Angiogenesis. *International Journal of Molecular Sciences*. 201908; 20(17):4197.

Gonda K, Akama Y, Nakamura T, Hashimoto E, Kyoya N, Rokkaku Y, Maejima Y, Horita S, Tachibana K, Abe N, Ohtake T, Shimomura K, Kono K, Saji S, Takenoshita S, Higashihara E. Cluster of differentiation 8 and programmed cell death ligand 1 expression in triple-negative breast cancer combined with autosomal dominant polycystic kidney disease and tuberous sclerosis complex: a case report. *Journal of Medical Case Reports*. 201912; 13(1):381.

Ashizawa M, Okayama H, Ishigame T, Thar Min AK, Saito K, Ujiiie D, Murakami Y, Kikuchi T, Nakayama Y, Noda M, Tada T, Endo H, Fujita S, Sakamoto W, Saito M, Saze Z, Momma T, Ohki S, Mimura K, Kono K. miRNA-148a-3p Regulates Immunosuppression in DNA Mismatch Repair-Deficient Colorectal Cancer by Targeting PD-L1. *Molecular Cancer Research*. 201906; 17(6):1403-1413.

Sato A, Yoshihisa A, Miyata-Tatsumi M, Oikawa M, Kobayashi A, Ishida T, Ohtake T, Takeishi Y. Valvular heart disease as a possible predictor of trastuzumab-induced cardiotoxicity in patients with breast cancer. *Molecular and Clinical Oncology*. 201901; 10(1):37-42.

Shimura T, Shibata M, Gonda K, Murakami Y, Noda M, Tachibana K, Abe N, Ohtake T. Prognostic impact of interleukin-6 and C-reactive protein on patients with breast cancer. *Oncology Letters*. 201906; 17(6):5139-5146.

Arinaga Y, Piller N, Sato F, Ishida T, Ohtake T, Kikuchi K, Sato A, Tada H, Miyashita M. The 10-min holistic self-care for patients with breast cancer-related lymphedema: pilot randomized controlled study. *Tohoku Journal of Experimental Medicine*. 201902; 247(2):139-147.

〔総説等〕

木村 隆, 横山 斉, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋 繁, 鈴木弘行, 大竹 徹, 田中秀明. 外科医となる自信を涵養する外科臨床実習 時代にマッチした外科医のリクルート. *日本外科学会雑誌*. 201911; 120(6):713-715.

過年業績

木村 隆, 鈴木眞一, 河野浩二, 丸橋 繁, 鈴木弘行, 大竹 徹, 田中秀明, 横山 斉, 後藤満一, 竹之下誠一. 若き外科医からの提言 わたしたちの将来の外科医療を見据えて 新米外科教授からの提言 医学生教育、外科専門医研修に主眼をおいた外科学講座再編 福島の新たな挑戦. *日本外科学会雑誌*. 201709; 118(5):593-596.

〔症例報告〕

星 信大, 阿部宣子, 立花和之進, 野田 勝, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 阿部貞彦, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 同時性両側性神経内分泌型非浸潤性乳管癌の1例. *癌と化学療法*. 201912; 46(13):2222-2224.

阿左美亜矢佳, 鈴木伸康, 高野祥直, 寺西 寧, 立花和之進, 大竹 徹. 遠隔転移切除により長期生存が得られた浸潤性小葉癌の1自験例. *福島医学雑誌*. 20190213; 69(2):137-142.

著 書・訳 書

大竹 徹. LH-RH アナログ. In: 佐治重衡 編. 乳がん薬物療法ハンドブック. 東京: 南江堂; 201901. p.331.

研究発表等

〔研究発表〕

Nemoto T, Endo S, Isohata N, Takayanagi D, Hoshi N, Nemoto D, Aizawa M, Utano K, Togashi K. High-dose Barium Impaction Therapy for Colonic Diverticular Bleeding. 14th Japan-Bolivia International Symposium on Medicine and Gastroenterology; 20191024; Santa Cruz, Bolivia.

Saji S, Kitada M, Takano T, Takada M, Ohtake T, Toyama T, Kikawa Y, Hasegawa Y, Fujisawa T, Kashiwaba M, Ishida T, Nakamura R, Yamamoto Y, Toh U, Iwata H, Masuda N, Taira N, Morita S, Ohno S, Toi M. A randomized, multicenter, phase II study evaluating the efficacy of interventional maintenance endocrine therapy with Bevacizumab following fixed cycles of Bevacizumab plus Paclitaxel in advanced/metastatic ER-positive HER2-negative breast cancer: JBCRG-M04 BOOSTER trial. San Antonio Breast Cancer Symposium; 20191212; San Antonio, USA.

村上祐子, 阿部宣子, 作山美郷, 仲野 宏, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 被包型乳頭状癌の2例. 第10回DCIS研究会; 20190126; 長崎.

片方雅紀, 村上祐子, 立花和之進, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 多発皮膚結節で発見された乳房の浸潤性小葉癌を疑う1例. 第16回日本乳癌学会東北地方会; 20190302; 仙台.

野田 勝, 阿部宣子, 村上祐子, 星 信大, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. 3次元病理画像解析をもととした乳癌手術の縮小化と長期臨床成績. 第119回日本外科学会; 2019420; 大阪.

片方雅紀, 村上祐子, 立花和之進, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 多発皮膚結節で発見された乳房の浸潤性小葉癌を疑う1例. 第6回臨床外科学会福島支部会; 20190427; 郡山.

星 信大, 阿部宣子, 立花和之進, 野田 勝, 村上祐子, 阿部貞彦, 岡野舞子, 吉田清香, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 同時性両側性神経内分泌型非浸潤性乳管癌の1例. 第41回癌局所療法研究会; 20190621; 岡山.

東 孝泰, 野田 勝, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 急速増大をきたし悪性が疑われた稀な乳腺巨大腫瘍の2例. 第27回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

阿部貞彦, 野田 勝, 東 孝泰, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 乳癌との鑑別が困難であったセンチネルリンパ節にITCを有した乳管腺腫の1例. 第27回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

阿部宣子, 立花和之進, 野田 勝, 東 孝泰, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 吉田清香, 大竹 徹. 当院におけるpalbociclibの使用経験. 第27回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

佐藤孝洋, 星 信大, 村上祐子, 阿部宣子, 片方雅紀, 東 孝泰, 阿部貞彦, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 同時性両側性神経内分泌型非浸潤性乳管癌の1例. 第27回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

立花和之進, 野水 整, 赤間孝典, 大竹 徹, 横山士郎, 新井正美, 中村清吾. BRCA 変異家系の乳癌における年齢因子の検討—HBOC コンソーシアムデータベースの解析から—. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

野田 勝, 阿部宣子, 東 孝泰, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 村上祐子, 岡野舞子, 立花和之進, 吉田清香, 大竹 徹. 近赤外光カメラシステム LIGHTVISION を用いたセンチネルリンパ節生検の評価. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

村上祐子, 東 孝泰, 片方雅紀, 佐藤孝洋, 阿部貞彦, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 佐治重衡, 大竹 徹. 乳癌におけるクローディン 4 発現の分子生物学的検討. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

岡野舞子, 浅岡真理子, 勝田絵里子, 大竹 徹, 高部和明. 米国ロズウェルパーク癌研究所におけるがんゲノム医療の現状と今後の展望. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190712; 東京.

片方雅紀, 村上祐子, 東 孝泰, 佐藤孝洋, 仲野 宏, 阿部貞彦, 星 信大, 野田 勝, 岡野舞子, 立花和之進, 阿部宣子, 吉田清香, 中村 泉, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. 周囲浸潤形態の異なる被胞型乳頭状癌の 2 例. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190713; 東京.

山口 光, 阿部宣子, 野田 勝, 立花和之進, 星 信大, 村上祐子, 中村 泉, 大竹 徹. 乳腺偽血管腫様過形成再発の 1 例. 第 81 回臨床外科学会総会; 20191114; 高知.

〔シンポジウム〕

野田 勝, 阿部宣子, 片方雅紀, 村上祐子, 立花和之進, 喜古雄一郎, 橋本優子, 大竹 徹. センチネルリンパ節に ITC を有し診断に苦慮した乳管腺腫の 1 例. 第 25 回日本乳腺疾患研究会; 20190215; 東京.

立花和之進. ER 陽性 HER2 陰性再発乳癌における Clinical Question を議論する. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190711; 東京.

大竹 徹. 患者プログラム 2 乳がん診断の意義と問題点 マンモグラフィ 特徴とピットフォール. 第 27 回日本乳癌学会学術総会; 20190713; 東京.

〔特別講演〕

大竹 徹. マンモグラフィで発見すべき乳癌—画像と病理—. 第 38 回東北地区集検放射線技師会研修会; 20190125; 福島.

大竹 徹. 乳がんの早期発見と外科治療. 平成 30 年度安達医師会講演会; 20190127; 二本松.

大竹 徹. 乳癌検診の動向と精度管理. 平成 30 年度福島県医師会乳がん検診ドクター講習会; 20190202; 郡山.

大竹 徹. 乳がんの外科治療. 平成 30 年度福島県立医科大学同窓会宮城県支部総会; 20190216; 仙台.

立花和之進. 乳がんを学ぶ. 福島民報社 福島県民健康セミナー; 20190317; 郡山.

大竹 徹. 乳癌の早期発見と外科治療. 平成 30 年度須賀川市医師会がん研究事業 (乳がん) 研修会; 20190322; 須賀川.

大竹 徹. マンモグラフィ検診で見逃すべき乳癌. 山形県医師会平成 30 年度乳がん検診研修会; 20190323; 山形.

大竹 徹. 転移・再発乳癌の薬物療法. 南東北乳がん看護ネットワーク 第 10 回看護セミナー; 20190601; 福島.

阿部宣子, 大竹 徹. 平成 29 年度福島市検診発見乳がんのマンモグラフィ読影解説. 平成 31 年度福島市医師会乳がん検診精度管理研修会; 20190611; 福島.

大竹 徹. がん対策推進基本計画と乳がん診療の話題. 第 2 回福島県がんシンポジウム; 20190629; 福島.

立花和之進. 乳がんを学ぶ. 福島県 学生がん予防サポーター養成セミナー; 20190729; いわき.

大竹 徹. 乳がんを学ぼう. 南相馬市立病院勉強会; 20190822; 南相馬.

大竹 徹. 外科医として生きる. 大学模擬授業; 20190928; 郡山.

村上祐子. 乳がん予防、早期発見の重要性. 福島県 学生がん予防サポーター養成セミナー; 20190930; 会津若松.

立花和之進. がんを知り、がんを予防し、がんになっても自分らしく安心して生きよう. 令和元年度福島県がん教育実践事業; 20191029; 会津若松.

大竹 徹. HER2 陰性乳癌の治療変遷. いわき乳腺疾患研究会; 20191115; いわき.

大竹 徹. もっと知りたい! 乳がんのこと. 福島県市民公開講座 若い女性で増えているがん 予防するためには; 20191117; 福島.

大竹 徹. HER2 陰性乳癌の治療変遷. 会津乳がん治療セミナー; 20191119; 会津若松.

大竹 徹. 乳癌の臨床と研究. 福島県立医科大学男女共同参画支援室 キャリアアップセミナー; 20191128; 福島.

〔招待講演〕

立花和之進. 乳癌の基礎と骨粗鬆症. 旭化成 社内講演会; 20190108; 福島.